

1. ポリオ[小児麻痺、急性灰白髄炎、Polio myelitis, IPV(Salk, Sabin)]
 - 少なくとも3回の接種が必要
 - アメリカの州によっては4回目も必要
 - 先進国では不活化ポリオワクチン(IPV)にて接種するがアジア地域は生ポリオワクチン(OPV)にて接種
 - 日本ではIPVにて接種
2. DPT/DT[三種・二種混合、Diphtheria, Pertussis, Tetanus]
 - 1期(乳幼児期)に相当する3~4回の接種の証明
 - 2期(11~12歳)に相当する10年以内の追加接種の証明
 - 現在国産の三種混合ワクチンは生産中止となっているため、留学に必要な方は輸入三種混合ワクチン(Tdap)にて当院では対応
3. 麻疹[はしか、Measles]
 - 海外ではMMR(麻疹・おたふくかぜ・風疹)として2回接種しているため、2回接種が必要
 - 1回だけの接種又は罹患済みの時は、抗体検査(NT法、PA法、EIA/IgG法)で陽性証明を記載する
4. 風疹[三日ばしか、Rubella]
 - 海外ではMMR(麻疹・おたふくかぜ・風疹)として2回接種しているため、2回接種が必要
 - 1回だけの接種又は罹患済みの時は、抗体検査(HI法、EIA/IgG法)で陽性証明を記載する
5. おたふくかぜ[流行性耳下腺炎、Mumps]
 - 海外ではMMR(麻疹・おたふくかぜ・風疹)として2回接種しているため、2回接種が必要
 - 1回だけの接種又は罹患済みの時は、抗体検査(EIA/IgG法)で陽性証明を記載する
6. 水痘[水ぼうそう、Varicella, Chickenpox]
 - 海外では2回接種することが多い
 - 1回だけの接種又は罹患済みの時は、抗体検査(EIA/IgG法、IAHA法)で陽性証明を記載する
7. ツベルクリン反応[PPD, Mantoux test]/BCG[結核]接種記録
 - 入学の1年以内(州によっては3ヶ月以内)の結果証明が必要
 - アメリカでは陽性は結核と判断される可能性が高いため、BCG接種記録も記載する
8. 胸部レントゲン[Chest X-ray]
 - ツベルクリン反応陽性の時は、胸部レントゲン撮影を行い、結核を否定する
9. B型肝炎[Hepatitis type-B, Hep-B]
 - 海外では定期接種になっている国が多い
 - 入学の際に接種証明を要求されることが多い
 - 4週間間隔で2回接種し、5~6ヶ月後に3回目を接種する
10. A型肝炎[Hepatitis type-A, Hep-A]
 - 食べ物から感染するため、アジア、アフリカ、中南米に留学する際には必要
 - 2~4週間隔で2回接種し、半年後(3ヶ月~2年)に3回目を接種する
 - アメリカでは定期接種となっている
11. 髄膜炎菌[meningococcal meningitis]
 - 定期接種になっている国も多く、寮生活をするときに要求されることが多い
 - 現在国内で手に入れることができないため、輸入髄膜炎菌ワクチンにて当院では対応